

歩 ~あゆみ~

共生と創造 ~ あじさい看護福祉専門学校の教育理念 ~

あじさいは、性質の異なったひとつひとつの花が集まって一輪の花となる。

人もまた人として生まれ、人間となるために、社会、文化の影響を受けて自らも構成員として環境を創造していく。これはあたかもあじさいが、陽光や水を受けて、土壌(環境)の変容を受け止め、その色や形が自在に変化していく様にも似ている。花は水の青になじみ、誰にも好かれ、和をもって一輪の花となる。看護・介護もまた、人と人との出会いではじまり、共に生き、創造していくものである。

学生はあじさいの如く、人との交流を通して変容し、自己の内にエネルギーを育んでいく。

そして、将来個人との相互交流を豊かにし、個人に応じた看護・介護が創造できるエネルギーを持ち続けることが重要である。

ここに共生と創造を謳う。

なお、あじさいは美濃加茂市の花である。



スポーツ大会



Contents

- ▼ スポーツ大会
- ▼ TOPICS
看護:異文化ケア
介護:生活支援技術 I
& 干し柿作り
- ▼ ギョーカイなう
大下大圓先生 特別講演
- ▼ ころろ@あじさい
- ▼ 看護・介護に役立つ頭の体操
- ▼ 在校生からのメッセージ
- ▼ 入学試験のご案内



毎年恒例のスポーツ大会をプラザちゅうたいで開催しました。体を動かし看護介護の枠を超えて、友達の輪を広げるという目的で、他学科・他学年の絆を深められる機会になればと、スローガンを『絆』としました。

競技は、両学科152名が参加できるよう○×クイズ、二人三脚障害物リレー、玉入れ、綱引き、ソフトバレーを行いました。昨年より競技内容が少し激しいため怪我などの心配がありました。学生や先生方も怪我なく最後まで楽しめていたと思います。途中、玉入れのかがが壊れるというアクシデントがあり待たせてしまうこともあったが、実行委員で協力し合い続行することができました。今回、実行委員長をやらせていただいて「人は一人ではやっていけない。仲間がいるから成り立つ。」ということを改めて感じました。

スポーツ大会が成功したのは仲間がいたからです。今回学んだことを看護に活かしていきたいです。(看護学科2年 島井斐香)

歩 ～あゆみ～

TOPICS

看護学科 ～Nursing～ 「異文化ケア」国際看護のプレゼンテーション



出されたパフォーマンス課題に対して情勢と課題、原因を追究し、実現可能なプレゼンテーション力を養うと共に、本質を見失うことなく看護ができる力を身につけます。



今回、異文化ケアのパフォーマンス課題のプレゼンテーションをして、「異文化ケア」とは、異文化を取り入れた代替案を使ってケアをするのではなく、異文化を受け入れて患者様に安全なケアを行うことが大切だと学びました。たとえば、感染のリスクがある新生児にピアスをつけたい母親の希望があったとき、アフリカの文化である魔除けのピアスをつけて子どもを守りたいという思いの母親に、科学的根拠やデータを用いてやめるよう説明することは文化的ケアとはいえません。

その人の文化はその人の生活そのものです。レイニンガーは、文化的ケアについて「安寧や健康を維持したり、人間の条件や生活様式を高めたり、病気や障害や死に対処しようとする個人または集団を援助し、支持し、能力を与えるような主観的および客観的に学習され伝承された価値観、信念、パターン化された生活様式を意味する。」と述べているように、一人一人の患者様がその人の文化によって安寧や健康を維持したり、生活様式を高めたり、病気から回復するためにも、その人の文化的背景をしっかりと考慮する必要があると学びました。そのためにも、多様な文化的背景を持つ人を全て受け入れ、その人がその人らしく、生きがいをもって生活するために、文化を取り入れた代替案ではなく、文化そのものを受け入れる看護が大切だと考えます。（看護学科2年 川瀬 里奈）



川瀬さん(前列左端)

介護福祉学科 ～Welfare～ 「生活支援技術Ⅰ」食事介助&干し柿作り



1年生は「生活支援技術Ⅰ」の授業で食事介助の演習を行いました。専門職としての知識と技術、そして体験したことで得られる学び『体得』を活かせる介護福祉士への成長に期待します。

とろみ食やきざみ食の場合、どんな材料で作られ、どんな味かも想像しづらい上、見た目からしても食欲がわきませんでした。

嚥下障害のある高齢者にとって飲料水は飲みにくく誤嚥の恐れもあります。その為、演習ではお茶やスポーツ飲料にとろみをつけて摂取するという利用者体験をしました。利用者様にとっては楽しみの一つでもある食事やおやつなので、少しでも『食べてみたい』という調理の工夫や声かけが大切であると感じました。（介護福祉学科1年 森山 恵美）



2年生は11月12日、干し柿作りを体験しました。123個の渋柿を一つ一つ丁寧に皮を剥き、2個を1組にして柿の軸に七モの両端をそれぞれ結び、軒下や天気の良い日には日当たりと風通しのよい屋上に干すこと数日……外皮が固くなったら指で押すようにして軽くもみ、愛情と手間を惜しむことなく、段々と熟していく変化を楽しみながら待ちに待った12月5日。

ついに見事完成 \ (^o^) / 甘さも硬さもすべて絶妙 ♡ 美味しくいただきました (^u^)



ギョーカイなう！ 大下大圓先生 特別講演



11月15日(金) 飛騨千光寺ご住職
大下大圓先生による特別講演
『生きる意味とこころのケア～緩和ケアの
場面から』を開催しました。



大下大圓先生の講演会は、何度も感動する場面がありました。事例で挙げられた船越さんは「死にたい」という思いを持っていたが、大下先生は船越さんの発言だけでなく、その背景にある思いにまで目を向けてスピリチュアルな部分に関わっておられました。大下先生や看護師、近所に住む友人、船越さんの周りの人が全員、船越さんを体が動かないかわいそうな人と思って関わるのではなく、事故に遭う前と同じ船越さんとして関わり、そうすることで船越さんに生きる力を与え、「生きていて良かった。もっと生きたい」と思えるようになっていきました。私は今までの講義や実習でスピリチュアルとは何か掴めず、スピリチュアルな部分に対するケアが苦手でした。しかし、大下先生のお話を聞いて「患者様に触れていなくても心にはたらきかける」それがスピリチュアルケアだと学びました。

大下先生の講演は心に響く言葉が多く、また、多くの事を学ばせて頂きました。(看護学科3年 小森 愛依)

穏やかで優しく、そして力強もある佇まいの大下先生は、スピリチュアルとは、死生観とは等、深く、難しいと捉えがちな内容をご自身の経験と知識を基に分かりやすく多面的に伝えてくださいました。学生や教職員それぞれに今すぐ活かせること、まだピンとこないこともあります。今後の人生の中で、必要なタイミングで大下先生のお言葉を活かせる時がくることと思っております。

このような貴重な時間を持ってましたこと、また来校直後の大下先生のお一言『ここは気持ちの良いところですね』。心から嬉しく感謝いたします。

教職員によるリレーコラム 第12回 こころ@あじさい

私には3歳9ヶ月になる一人娘がいます。最近のお気に入りアニメTOP3はアンパンマン・ドラえもん・おさるのジョージです。アンパンマンは娘が物心ついて最初に好きになったアニメなので、私もキャラクターの名前など随分覚ええました。ドライブ中の車内ではよくアンパンマンのCDがかかっており、普段からアンパンマンヒットメドレーをついつい口ずさんでしまう今日この頃です。

幼児向けアニメの歌を大人になってから聴いていて感じるのは、「アニメの主題歌ってなんだかとても深いな〜」ってことです。特にアンパンマンの主題歌「アンパンマンのマーチ」は深すぎるの一言です。

始めはこんな歌い出しです。

♪「**そう**だ**うれ**しい**んだ** **生きる**よろ**こび** **たとえ**胸の傷が**いた**んでも **なんの**ために
生まれて **なに**をして**生きる**のか **こたえ**られない **なんて** **そんな**のは**いや**だ
今を**生きる**ことで **熱い** **こころ** **燃**える **だから** **君**は**いく**んだ **ほほ**え**んで**…」

出だしからいきなり生きることの意味を問いただしています。また、過去に囚われず、未来を恐れず、今を一所懸命に情熱をもって生きることの大切さを歌っています。深い、深すぎる！

後半にはこんな歌詞もあります。

♪「**時**は**はやく**すぎる **光る**星は **消**える **だから**君は**いく**んだ **ほほ**え**んで**…」
“時ははやくすぎる=光陰矢のごとし” “光る星は消える=諸行無常” この歌詞を聴くとこのようなフレーズが頭に浮かびます。

哲学的な意味合いが強い歌詞はアンパンマンを見て育った子供たちが大人になった時に初めて気付くようなメッセージのようにも感じます。

何世代にも渡って受け継がれていくであろう素晴らしい作品を残してくださった、やなせたかしさん(昨年10月にお亡くなりになられました)に心からの感謝を贈りたいと思います。

庶務課長 藤本 敦之



看護・介護に役立つ ★頭の体操★

問1

五大栄養素とは？

問2

後期高齢者とは何歳以上？

問3

介護保険料が徴収されるのはいつから？

答えは最後のページ、
一番下にあります。

在校生からのメッセージ

看護学科1年 中嶋 比奈子
愛知県立長久手高等学校 卒



11月18日～22日の5日間、急性期、慢性期、リハビリ期の各期の病棟と健康管理センターに実習に行かせていただきました。

今回の実習は、人間と健康というテーマをもち、その中でも個人でビジョンとゴールを考え実習に挑みました。

“健康”とは単に“病気でないこと”だけではないと授業で学びました。今回の実習で各期における健康とは何かについて考え、病期によっても“健康”の意味に違いがあると実感しました。

また、健康管理センターでは健診を受けにいらした方に話を伺い、病気を予防する段階での健康の意味について考えを深めました。様々な段階での健康を考え、多くの意味を持つ事を知りました。その人にとっての健康を考えるのはその人を知る事にも繋がります、看護を考える上で重要だと感じました。5日間で多くの方と関わらせていただき、学ばせてくださった看護師さん、患者様に感謝したいです。今回の実習で学んだ事を基にその人にとっての健康は何かを理解し、課題をもってどのような看護ができるか考えていきたいです。

介護福祉学科2年 大島 朱美
聖マリア女学院高等学校／市邨学園短期大学 卒



40代半ばの自分が勉強についていけるのか、という大きな不安を抱えながらも勇気を出し入学を決意し、早2年が過ぎようとしています。

入学前は、このままの自分ではいけないと資格取得を考えながらも、自分に自信がなく一歩前に踏み出すことができませんでした。

実際の学校生活では、先生方の和気藹々とした雰囲気の中での温かく親身なご指導と、仲間との支えあいがあり、とても楽しく充実して過ごすことができます。この学校での出会いに感謝すると共に、専門知識習得のために多くの良い学びを得ていることに喜びを感じています。そして同じ目標をもった同志と切磋琢磨して成長してきた2年間は私の宝物となり、自信を持つことができなかつた自分を啓発することに繋がりました。あじさいに入学して本当に良かったと心から思っています。2年間培ってきた学びを今後活かすことができるよう、日々精進していきたいと思っています。

入学試験のご案内

看護学科

入試区分	願書受付期間	試験日
一般②	1月14日～2月10日	2月15日(土)
一般③	2月17日～3月3日	3月8日(土)
社会人②	2月17日～3月3日	3月8日(土)

介護福祉学科

入試区分	願書受付期間	試験日
一般③	12月9日～1月17日	1月26日(日)
一般④	1月20日～2月14日	2月23日(日)
一般⑤	2月17日～3月7日	3月15日(土)

平成6年4月 あじさい看護専門学校として開校し 平成26年の今年 あじさい看護福祉専門学校は 20周年を迎えます

学校見学随時受付中 (要予約)



学校法人あじさい学園 **あじさい看護福祉専門学校**

〒505-0022 岐阜県美濃加茂市川合町4-6-8

TEL: (0574)28-2131 FAX: (0574)28-2130

<http://www.ajisai.ac.jp>

e-mail: info@ajisai.ac.jp

携帯サイトは
こちらから

